



社会新報 号外 (岡山県連合版)

岡山市北区弓之町5-7 Tel.086-226-1234

http://www.sdp.or.jp/okayama/index.html e-mail: sdp_okayama@helen.ocn.ne.jp

社会民主党全国連合機関紙宣伝局(号外)
〒100-8909 東京都千代田区永田町1-8-1
Tel.03-3592-7515 定価180円月700円年160

毎月1日発行 2011年12月1日

それでも原発は必要ですか

怒り続ける放射性物質、いまも生活を脅かしている

さよなら原発1000万人署名イン岡山”実行委員会は11月12日の嵐、岡山駅前前で約40名が参加して署名活動を行った。11月も半ばで少し肌寒い中、若い人も積極的に署名にに応じてくれ、2時間で約5000筆となった。実行委の県内目標16万筆に向け、参加各団体も独自に種々の活動をすすめている。

ドイツの関心の高さと日本の違いは国民性?

原水禁・岡山と党県連合は共同で9月以降、月2、3回の街頭署名を行っていた。19日、雨で買物客の出足がいま一つの天満屋・

原発推進派の責任は重大

井戸隆一郎

「新報」11・23再録
1995年、日口協会(岡山)の代表としてウクライナを訪問した。目的は「小児甲状腺がん」を早期に見出すため、現地の医療機関が最も必要としていた「超音波断層撮影装置」を寄贈するためです。

当時、すでに現地に赴き支援活動に取り組んでいた広島県の「シユノーの会」と広大



「実行委員会HPより」

表町商店街では4名が参加商店街の店主から、「原発があつて、戦後の復興があつた。電気がなかったら今日の繁栄はなかった」との意見で議論が交わされた。ドイツから一時帰国しているという女性は「ドイツでは環境問題に熱心で、福島原発事故を機に国民の80%が廃止賛成となった。日本の原発反対の集会も大きく報道され、日本でもやつとデモが行われるようになったのかと思つた。ドイツとの国民性の違いだろうか」

福祉・原発で研修、現地福島からも報告

25・26日、党地方自治体議員団会議

社民党自治体議員団、中国ブロック総会・研修会が25・26両日に岡山で開かれ、40数名が参加した。先の統一自治体選挙では島根で初めて社民党員県議

因が分からないのに「ソ連の原発と日本の原発とは炉型が違うし、安全管理を十分にやっているから日本の原発は事故が起らない」と言っていました。

チェルノブイリで一番犠牲になたのは抵抗力のない子どもたちでした。福島原発から放出された放射性物質の量はチェルノブイリを上回ると言われています。将来に向けて推進派の責任は重大です(OB・Gコラム)

と話してくれた。

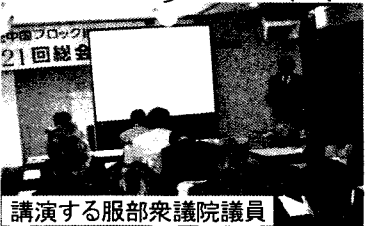
個人で署名用紙24枚

署名活動は個人でも取り組まれている。党の先輩からは、活動の旧友に送つたり声をかけ、署名簿24枚を届けてくれたり、地元を回っている人もいます。

これから年末年始で大勢の人と会う機会も増えます。皆さんもぜひもう一人に声をかけて下さい。署名用紙は党から届けます。

25・26日、党地方自治体議員団会議を出し、広島市議選でも若い議員を誕生させたこと、結果は厳しかったが岡山で公認を出して闘つたことなどが報告され、次の衆議院選挙に向け、日常活動の展開、社民党独自候補で臨むことを確認した。

研修会は、「日本の社会保障制度を考える」(商大山下教授)、福島県連合の加藤幹事長の現地報告、2日目は、服部衆議院議員の「アークシヨンプログラム」の講演、各県報告が行われた。



講演する服部衆議院議員



走、まさに歴史的な年となった2011年、あと1カ月、大震災原発事故の収束が見えないなか、夜明け前の光を導くのは私たちの実践だ▼それを裏付けるためには、現状を、事実を知ることが大切だ。福島県連合・加藤幹事長は講演で党活動のなかに学習活動を掘えることを強調された▼「先月号」を読んだ党員から電話があつた

「これからの行動予定」

- 12月11日(日) 10時、12時 矢吹宅集合 地域一斉行動
- 原発学習会(西尾慎氏)
- 12月11日(日) 14時 駅前サンビーチ(9条連)
- 鎌田慧氏 講演会
- 12月14日(水) 18:30 国際交流会館(実行委)

党新春旗びらき
1月28日 岡山みよしの
詳細は別途ご案内します

「新報」読者会

毎月 第1火曜日
時間 18:00
12月6日、新年は8日
場所 社民党県連合